



2020.3
Vol. 16

ご自由にお取りください

information

eYes *あいづ*
2020.3 Vol. 16

特集

こんなに素敵な KUMAMOTO なんだから 世界にも自慢しなきゃ もったいないじゃない!



熊本市市民活動支援センター・あいぽーと



ボランティア

ボランティア活動を始めたい、ボランティアを募集したい等の様々な相談を受け付けています。また個人、団体でのボランティア登録を受け付けており、登録された方には定期的にボランティアに関する情報を届けしております。ボランティア活動に興味のある方はぜひご来館ください。



NPO法人

NPO法人の設立・運営に関する相談や、各種提出書類の相談窓口を開設しています。特に、法人の設立及び定款変更の認証申請書類の作成に関しては、留意していただく事項が多いため、申請書類の作成に関する質問、提出書類の確認をするなどの事前相談を実施しております。また法人の活動状況把握のための訪問や、要望に応じての出前相談会も行っております。



くまもと・わくわく基金／その他助成金

「くまもと・わくわく基金」や「その他助成金」に関する相談を受け付けています。「くまもと・わくわく基金」から助成を受けるには、あらかじめ基金団体登録をしていただく必要があります。申請書や報告書など書類の書き方の説明や、団体の運営相談などを受け付けています。また、「その他助成金」に関しては、ホームページでの情報掲載や、窓口での説明・紹介等を行っております。



Let's goあいぽーと！

あいぽーとのイベント情報をFM791のラジオで毎週月曜日朝8時40分より配信しています。「Let's goあいぽーと」を聴いてあいぽーと情報をゲットして遊びに来てください。

放送日／毎週月曜日 8:40～

※生放送のため、開始時間が前後する場合がございます

あいりぽーと

毎月、あいりぽーとスタッフが、熊本市内で活動されている団体を取材し、FM791のラジオ番組「校区のチカラ」の中で取材報告をしています。

放送日／毎月第2金曜日 14:00～

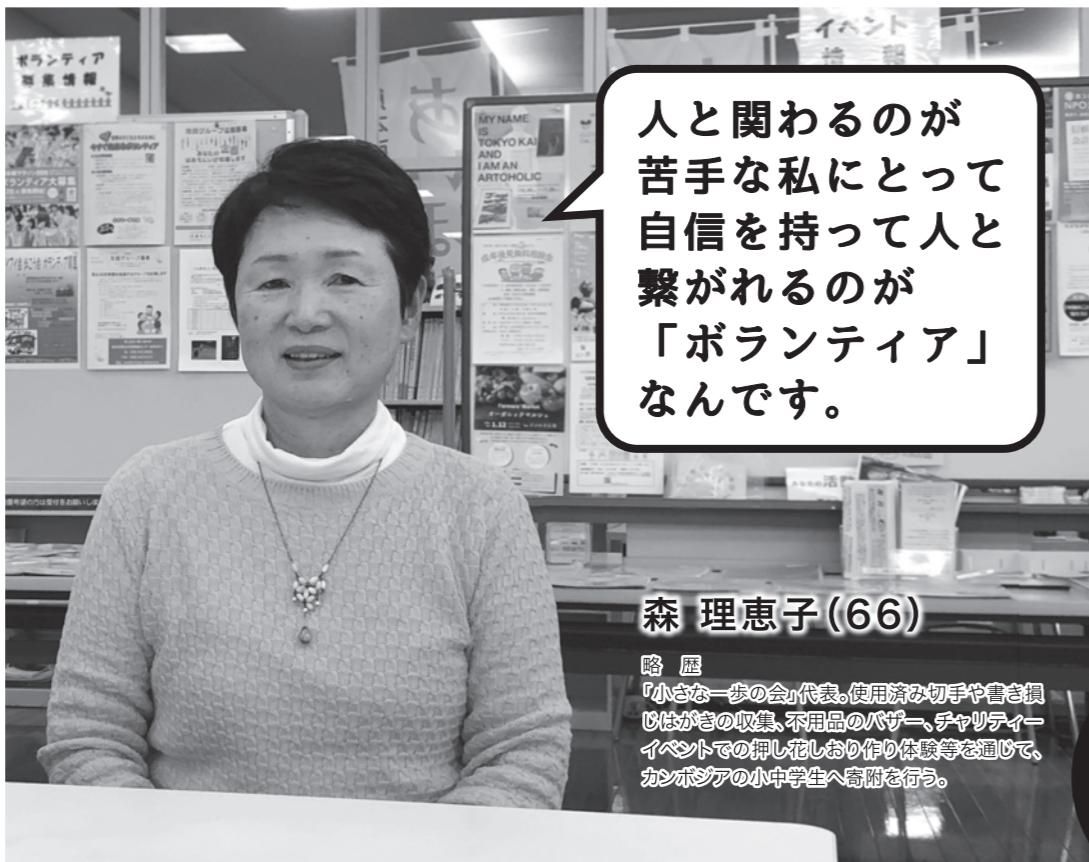
詳細については、お気軽に下記までお問い合わせください。

熊本市市民活動支援センター・あいぽーと

TEL:096-366-0168 FAX:096-366-8830
Mail:aiport_kumamoto_city@joy.ocn.ne.jp



ホームページは
コチラから



森 理恵子(66)

略歴

「小さな一步の会」代表。使用済み切手や書き損じはがきの収集、不用品のバザー、チャリティーイベントでの押し花しおり作り体験等を通じて、カンボジアの小中学生へ寄附を行う。

クローズアップ人

母から習った押し花を活用して、「押し花し

おり作り」のワークショップを実施、その収

益でカンボジアの地雷被害者村の小学校を

支援してきた森さん。活動に込められた想

いにクローズアップしました。

——カンボジアの小中学生を支援しているそ

うですね。

小学校、中学校を支援の対象にしているのにも理由があります。押し花しおり作りには、多くの子ども達が参加してくれて、皆楽しかったと喜んでくれます。その参加費が力

で、ボランティアに関心を持つきっかけにな

ればと考えたからです。対象の希望小学校は

終了し、現在は中学生へ自転車（通学用）を

贈る支援を行っています。

——森さんにとって、最初の「小さな一步」はどういう活動でしたか？

学生時代は点字のボランティアをしたこと

もありましたが、結婚後は家事や子育て、主

人の仕事を手伝ったりとバタバタな毎日。そ

んな中でも、使用済み切手ならコツコツと収

集できると思い、継続してきました。

2003年に「小さな一步の会」という団体

を立ち上げてからは、活動の場所も増え、人の関わりが広がったことで、大きなやりがいを感じるようになりました。

contents もくじ

特集

●こんなに素敵なKUMAMOTOなんだから世界にも自慢しなきゃもったいないじゃない!

02

●クローズアップ 人 01

●あいぽーとと地域 06

●くまもと・わくわく基金レポート

縁-up!くまもと2019 08

わくわく基金「その後の話」 10

ご協力のお礼と寄附者のご紹介 12

わくわく基金 制度のしくみと利用方法 13

●アクティブNPO 14

●数字で見る“あいぽーと” 16

●あいづ川柳道場 17

●表紙について

こんなに素敵なKUMAMOTOなんだから世界にも自慢しなきゃもったいないじゃない!

今回のeyesは、熊本市の各地域に眠るスポットの発見、あいぽーと地域との連携、「地元力」をフル活用したNPOなど、「地域」に目を向けてみました。表紙に登場(?)していただいたのは、400年の昔から熊本を見守ってきた加藤清正公。きっと彼も思っているはずです。「熊本をもっと自慢したい!」と。



eyesは、ボランティアやNPO活動を“つなぎ・育て・見守る”視点(eyes)で制作しています。

①こんなに素敵なKUMAMOTOなんだから世界にも自慢しなきやもつたいないじゃない!

今回の eyes 特集では、ちょっとだけ国際化を意識して全文の英語訳を記載しています。対応する番号の文を参照してください。海外の読者さんにも読んでいただけますように…!

③文化も歴史も暮らしも企業も！Kumamotoには世界に誇れる宝がいっぱいあるのに、なんでもっと自慢しないの？

④世界に向けて熊本を自慢したい！



② NPO法人ディスカバリーくまもと
理事長 野田 恒子さん

⑤ そう語るのは、NPO法人ディスカバリーくまもとの理事長を務める野田恭子さん。熊本で生まれ育った彼女は、東京ワシントンDCでの40年の暮らしを経て帰ってきた故郷で、その魅力に惚れ直しました。

⑥ 「熊本城をはじめとしたこの街の歴史や文化を世界に発信したい！」。そう考えた野田さんは、まず自身が熊本の歴史を学ぶための場として、「熊本城下町学習塾」を立ち上げます。

⑦ 講師を招いて歴史や文化を学ぶかたわら、持ち前の英語力を活かして海外からの観光客に向けたガイドを始めます。2007年、ともに学んだ仲間と一緒に「ディスカバリーくまもと」を設立、2012年にNPO法人化。野田さん達による「熊本の宝探し」と「世界に向けた発信」が本格化します。

English translation

① Why not talk more about WONDERFUL KUMAMOTO ! ② "NPO Discovery KUMAMOTO" Chief Director Kyoko Noda ③ Why don't we you boast the history and culture of Kumamoto and its society? ④ "I want to be proud of Kumamoto to the world !" ⑤ Kyoko Noda said that she realized how much she loved Kumamoto when came back from Washington D.C., the USA. ⑥ To introduce Kumamoto, she started learning about the history of Kumamoto Castle. ⑦ Learning the history and culture, Kyoko & her mates began to guide for tourists in English. In 2007, they organized the English-speaking guiding group. Then in 2012, they established it as "NPO Discovery KUMAMOTO." Now, their guiding activity has become more serious and has been introducing not only the major historical sites in Kumamoto but the historical treasures in the local community to the world.

⑧ディスカバリーくまもとの活動は「発見」と「発信」の繰り返し！

⑬ 地震後は観光ガイドの依頼は一斉にキャンセル。代わりに、被災地の観察に訪れた方へ向けてのガイドが増えました。

⑭ 高校生向けには約2ヶ月の集中講座により実践的な「生きた英会話」のガイドを伝授。

⑮ 各地への小中学生へ向けて行った出前講座も大好評。有名な観光地だけでなく、それぞれの地域に残る歴史文化遺産のガイドにも対応！

⑮ 各地への小中学生へ向けて行った出前講座も大好評。有名な観光地だけでなく、それぞれの地域に残る歴史文化遺産のガイドにも対応！

⑯ 水前寺成趣園では受講した小学生が観光ガイドを行いました！ここでは毎週土・日曜にコンシェルデスクを開設しています。

⑰ 熊本城や水前寺などの有名観光地だけではなく、子ども達自身が住む町を舞台にした歴史・文化のガイド事業は、参加者の子ども達はもちろん、地元の商店や地域の住民にも好評を博しました。

⑪ 地震前に多かったのはやはり観光ガイドです。アメリカの美大生に向けた美術館ガイドや、伝統工芸学習ツアーの通訳ガイドも行いましたよ！

⑫ ヨーロッパからの観光客は阿蘇や五家荘などの遠方への観光が多いです。長時間のガイドとなるため、コミュニケーション力も重要ですね！

⑬ 地震後は観光ガイドの依頼は一斉にキャンセル。代わりに、被災地の観察に訪れた方へ向けてのガイドが増えました。

⑩ 貴重な名所旧跡、伝統文化、雄大な自然など、熊本の魅力を世界に発信するため、語学スキルだけではなく、コミュニケーション力も重要ですね！

⑪ 地震前に多かったのはやはり観光ガイドです。アメリカの美大生に向けた美術館ガイドや、伝統工芸学習ツアーの通訳ガイドも行いましたよ！

⑫ ヨーロッパからの観光客は阿蘇や五家荘などの遠方への観光が多いです。長時間のガイドとなるため、コミュニケーション力も重要ですね！

⑭ もう一つの事業の柱は次世代の観光人財育成！小中学生や高校生を対象に、自信をもつて熊本をガイドするための養成講座・出前講座を行っています。子ども達が将来グローバルに活躍できるようにという願いも込めています♪

⑮ 各地への小中学生へ向けて行った出前講座も大好評。有名な観光地だけでなく、それぞれの地域に残る歴史文化遺産のガイドにも対応！

⑯ 水前寺成趣園では受講した小学生が観光ガイドを行いました！ここでは毎週土・日曜にコンシェルデスクを開設しています。

⑭ もう一つの事業の柱は次世代の観光人財育成！小中学生や高校生を対象に、自信をもつて熊本をガイドするための養成講座・出前講座を行っています。子ども達が将来グローバルに活躍できるようにという願いも込めています♪

⑮ 各地への小中学生へ向けて行った出前講座も大好評。有名な観光地だけでなく、それぞれの地域に残る歴史文化遺産のガイドにも対応！

⑯ 水前寺成趣園では受講した小学生が観光ガイドを行いました！ここでは毎週土・日曜にコンシェルデスクを開設しています。

⑰ この事実を前に野田さんは「20年後に活躍する観光人財を育てなければいけない」と決意します。

⑱ 熊本の魅力を世界に発信してくれるのは子ども達。以前から行っていた小中学生、高校生に向けた養成講座により力を入れ、新しい取り組みを始めました。

⑲ 熊本城の復興にはあと20年かかる。熊本城の復興にはあと20年かかる。

⑰ この事実を前に野田さんは「20年後に活躍する観光人財を育てなければいけない」と決意します。

⑱ 熊本の魅力を世界に発信してくれるのは子ども達。以前から行っていた小中学生、高校生に向けた養成講座により力を入れ、新しい取り組みを始めました。

⑲ 熊本城の復興にはあと20年かかる。熊本城の復興にはあと20年かかる。

⑳ この事実を前に野田さんは「20年後に活躍する観光人財を育てなければいけない」と決意します。

㉑ 熊本の魅力を世界に発信してくれるのは子ども達。以前から行っていた小中学生、高校生に向けた養成講座により力を入れ、新しい取り組みを始めました。

㉒ 熊本城や水前寺などの有名観光地だけでなく、子ども達自身が住む町を舞台にした歴史・文化のガイド事業は、参加者の子ども達はもちろん、地元の商店や地域の住民にも好評を博しました。

⑳ この事実を前に野田さんは「20年後に活躍する観光人財を育てなければいけない」と決意します。

㉑ 熊本の魅力を世界に発信してくれるのは子ども達。以前から行っていた小中学生、高校生に向けた養成講座により力を入れ、新しい取り組みを始めました。

㉒ 熊本城や水前寺などの有名観光地だけでなく、子ども達自身が住む町を舞台にした歴史・文化のガイド事業は、参加者の子ども達はもちろん、地元の商店や地域の住民にも好評を博しました。

㉓ そして2019年野田さん達が新たに発見した熊本の宝は…

㉓ そして2019年野田さん達が新たに発見した熊本の宝は…

次ページへ続く

English translation

⑧ Their activity has become "Discovery and Sending out" over and over. ⑨ To introduce Kumamoto, they have learned not only conversational English but also about the new sightseeing sites and attractions for tourists. ⑩ Our mission is to introduce the history, culture and great nature of Kumamoto to the world. ⑪ Before the earthquake occurred in Kumamoto in 2016, many tourists visited Kumamoto. ⑫ Tourists from Europe often stayed longer and wanted to visit Mt.Aso, Gokanoso and other distant places. ⑬ After the earthquake, many guiding requests were canceled but the new type of guides were requested that were supporting the study or research tours to the disaster areas. ⑭ Another important activity of ours is training younger generations to be volunteer guides to promote tourism in Kumamoto for the future. We also hope that they will be active globally in their future. ⑮ We have held the seminars and taught elementary and junior high school students, as well as high school students not only the history and culture of Kumamoto but local historical sites and its treasures. ⑯ In Suizenji Joju-En the elementary school students guided it in English. We set up the concierge desk there and station every weekend. ⑰ To high school students, they taught more practical conversational English. ⑱ We have started developing human resources for the future, aiming for the 20 years ahead. ⑲ It will take 20 years to restore Kumamoto Castle. ⑳ Kyoko decided that her guiding group should educate and train the younger generations to be the future guides since the restoration will take 20 years. ㉑ The younger generation is the one who introduce and extend the attractions or charm of Kumamoto to the world in the future. We have focused on the seminar for the students of elementary and junior high school as well as high school students. Now, we have tackled a new program. ㉒ Our guiding program that is not just introducing famous sightseeing places, such as Kumamoto Castle and Suizenji Joju-En, but the history and culture in the local communities where the children live, have been received well by not only participated children but the people in the local communities including the shop owners. ㉓ Then, in 2019, the new historical treasures that we have discovered are

子ども達が選んだスポットを英語でガイド！



⑩ 大成功＆大好評に終わった子ども達の英語ガイド養成講座に、大人たちも触発されます。ディスカバリーくまもとメンバーの大人们は、上通を舞台に「宝探し」をスタートしました。

⑪ 大人チームが選んだのは中央区上通の商店街。書店や飲食店など、約10カ所を取材し、子ども達と同様にガイド養成のためのテキストも作成。観光客を迎える準備もバッチリです。熊本に住んでいる人も知らない情報もたくさん知ることができて、また「発見」「くまもと！」

Q 熊本市や市民の皆さんへ望むことは？

⑫ 行政に対しては、もっと観光に本気になって欲しい！と思っています。特に、今回の養成講座を含め子ども達が関わる事業はとても重要です。未来の熊本の観光を支えてくれる人財を育てるためにも、資金面や広報でも協力していただけないと嬉しいです。市民の皆さんや、在熊の企業には、「もっと熊本を自慢して！」と思います。私が住む熊本はこんなに素敵なのに、世界に自慢しないなんてもったいないじゃない！

取材を終えて
国際的にはまだまだ認知度が十分とは言えない熊本のブランド。それでも、少しずつ「I love KUMAMOTO」と言ってくれる外国人も増えてきています。それを支えてきたのは、ディスカバリーくまもとのように、市民が主体となった活動なのかもしれません。名所・旧跡の観光だけに留まらず、日々の暮らしや街並みだって、世界に誇りたい熊本の一部！ 私たちが住むKUMAMOTOの魅力をもっともっと発見し、発信していきたいですね。

English translation

⑬ Kids guided the sites where they selected themselves in English. ⑭ They chose sightseeing spots by their own thoughts. ⑮ They interviewed shops and stores in the Kokai shopping area, Fujisaki Hachimangu Shrine and the sites of Taishoji Temple by themselves. ⑯ The kids and their parents wrote the English textbook together for guiding and practiced it also together. ⑰ Let's act! ⑱ They held the seminar for the Sekidai and Kurokami school districts. The students of those schools selected the Kokai shopping area, Fujisaki Hachimangu Shrine and the sites of Taishoji Temple for guiding in English. The 7 classes had been held in the seminar and created the English textbook, then practiced guiding very hard. They learned not only the history of Fujisaki Hachimangu Shrine but the manners of praying procedure, such as washing hands prior to pray and how to pray in front of the god. Also, in the Kokai area, they guided not just the shops and stores but talked about foods and its formula. They did the very practical guiding with the culture of daily life in their own community. ⑲ The distinguish feature in this program is that all process was done by students themselves, selecting the guiding spots, etc...They took the initiative!! We were realized that there were many hidden historical treasures in our communities that the students discovered with their fresh eyes, views, not just ordinary sightseeing spots. ⑳ This is the guiding textbook, written in a very simple English. It could be used by adults also. The philosophy of our guiding is that a guide should be a story teller and an entertainer. ㉑ As we adults, were inspired by the success of seminar for students, then we, the members of NPO Discovery Kumamoto tried to discover the treasures in the Kamitorii Arcade, then started to guide the shops and stores there. ㉒ Bookstores, restaurants and etc...,about 10 stores. We also made the guiding textbook in English. Now, we are ready to welcome tourists!! We found out the new information of Kamitorii Arcade through the interviews and research. It was indeed "Discovery Kumamoto!!" ㉓ It was a series of discovery for us also. The resources of tourism in Kumamoto are not only Kumamoto Castle or Suizenji Joju-En. Look around us with curious mind. There are many hidden historical treasures in Kumamoto that can be proud to the world. We will try to look for those new sightseeing spots. We will continue to hold seminars for younger generations with the hope that they can expand the history and culture of Kumamoto to the world in the future. ㉔ We hope that the governments of Kumamoto will take the tourism more seriously. Hope they will be able to support this program financially and extend our activities to the public. It is a very important program for the future society of Kumamoto economically and revitalize Kumamoto with younger generations. The companies or business in Kumamoto should be proud our hometown more and show off its history and culture to the world!! Don't waste our historical treasures of "Great Kumamoto!!"



㉕ 受講の募集に対して集まった子ども達が、自分の目線で紹介したい場所・文化をピックアップ

㉖ 子飼商店街や藤崎八幡宮、泰勝寺跡など、各所への取材を実施。もちろん取材担当者も子ども達！



㉗ 取材内容をもとに、英語でガイドするためのテキストを作成＆親子でガイドの猛練習！

㉘ この取り組みの最大の特徴は、紹介するスポットの選定からその取材まで、小学生の子ども達が主体となつて実施したことです。彼らのイキイキとした発想に、名所・旧跡でなくとも素晴らしい「熊本の宝」がたくさんあるんだと、改めて気づかれますね！



㉙ 積合校区、黒髪校区の小学生と保護者を対象に、地域の歴史、文化を英語でガイドするための養成講座を実施。同校区の中から子ども達が選んだのは、藤崎八幡宮、子飼商店街、泰勝寺跡の3カ所でした。

全7回の講座では専用のテキストも作られ、ガイドに向けた猛特訓が行われました。単なる観光スポットの案内だけではなく、藤崎宮では手水、参拝等の作法の説明、子飼商店街のお店では売られている食材の調理法など、暮らしや文化により密着した実践的な英語ガイドが実現しましたよ！

植木温泉納涼花火大会 with 植木まちづくりセンター



植木温泉周辺(北区植木町米塚)の河川沿いで毎年夏に実施されている納涼花火大会。主催者である植木温泉観光旅館組合では、今回初の試みとしてボランティアスタッフを募集することにしました。

相談を受けたまちづくりセンターの担当者 江副さんは、以前熊本城マラソンのボランティア募集のときに連携を図ったあいぽーとのことを思い出します。

あいぽーから、ボランティアスタッフを募集するにあたっての説明やアドバイスを受けながら当日までスムーズに進行。今年も見事な花火を打ち上げることができました。



東部まちづくりセンター
小倉さん



秋津まちづくりセンター
前田さん



植木まちづくりセンター
田中さん



植木まちづくりセンター
江副さん



あいぽーと
白石さん

あいぽーとが、それぞれの市民団体の特徴や活動内容をかなり詳しく把握していることを改めて感じました。地域サロンの皆さんも、今回のイベントであいぽーとに関心を持つ方がたくさん居たようです。これからも情報交換をしながら、地域、市民の皆さんの活動を応援できる機会を増やしていきたいと思います。

あいぽーとが、それまでの市民団体の特徴や活動内容をかなり詳しく把握していることを改めて感じました。地域サロンの皆さんも、今回のイベントであいぽーとが、ぜひとも活動させていただきたいと思います。

スタッフだけでは時間がかかる作業も、ボランティアを必要とする機会が来ると感じています。地域の現状を把握しながらより連携を深め、まちづくり支援に活用していきたいですね。

植木温泉花火大会以外にも様々なイベントが開催されているので、今回のケースを参考にしてイベント主催の方にあいぽーとのことをご紹介させて頂きたいです。積極的なボランティア募集の情報発信や運営のサポート等、これからもよろしくお願いします!

あいぽーとのコラボいかがでしたか? 今後やってみたい取り組みがあればぜひ聞かせてください!

まちづくりセンターが得意とする「地域に寄り添った課題の発見・解決」と、あいぽーとの得意分野である「市民ボランティアへの情報発信」。二つの力が合わったことで、様々な取り組みが生まれました。まちづくりセンター担当職員のみなさんにも感想を聞いてみましょう。

秋津第二団地交流会 with 秋津まちづくりセンター



災害公営住宅秋津第二団地の入居者と同地域に住む人々の交流を目的に、入居者・地域住民織り交ぜての交流会が企画されました。

交流会の運営を受託したのは熊本シティエフエム(FM791)。要請を受けたあいぽーとは登録者に向けてボランティアスタッフを募集しました。集まったボランティアスタッフ、シティエフエムの職員が一丸となって、交流会の準備や参加しやすい雰囲気づくりに邁進! 終始和気あいあいとした交流会となり、実施の目的であった「団地内コミュニティの醸成」や「地域との連携強化」に向けて、大きな一步を踏み出すことができました!

あいぽーとと地域

かねてから「地域との協力・協働」を目標に掲げていたあいぽーと。2019年に新しい取り組みとして、地域と行政をつなぐ窓口「まちづくりセンター」とのコラボレーション事業を実施しました! さてさて、どんな取り組みが生まれたのでしょうか…?

まちづくりセンターとは

地域づくりを支援する行政の機関。従来の地域ごとの出張所や公民館などが再編されて誕生しました。地域担当職員を通じて、地域の相談窓口、情報の収集と共有、行政からの情報発信のほか、自治会や校区などの地域コミュニティを支援する活動も行っています。



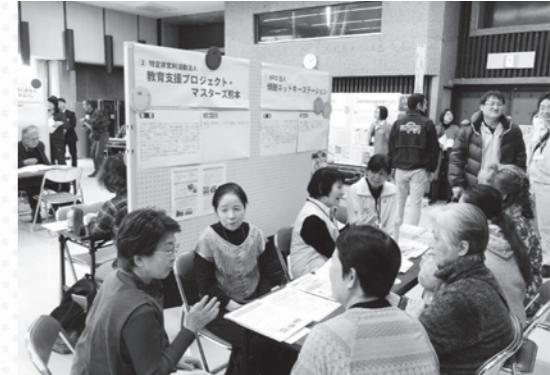
親子でつくる灯ろう体験 in 植木温泉WAのあかり2020! with 植木まちづくりセンター



植木町の田底校区自治協議会と植木温泉観光旅館組合が協働で行った初のイベント、「親子でつくる灯ろう体験 in 植木温泉 WA のあかり 2020!」。地域と旅館組合が協力して調整を行う中で、「アイデアや SNS での発信力など、若いボランティアの力を活用したい!」との意見が。

相談を受けたあいぽーとから、ボランティア登録している団体・個人に向け情報を発信。学生をはじめとした若い世代のボランティアスタッフが集まり、期待されていたアイデアや情報発信の他にも、写真の「竹あかり」の設置など様々な場面での協力が実現しました。

東区サロンマッチングイベント with 東部まちづくりセンター



東区内のサロン(地域活動)の活動における内容の充実、満足度向上、参加者数アップなどの活性化につなげることを目的として、サロン主催者と、区内で活動可能な応援者(NPO 等の各種団体)の交流を促すためのマッチングイベントを実施。

あいぽーとからは、市民活動団体に向けて送付している「あいぽーと通信」に同イベントのチラシを同封するなど、サロンを応援してくれる団体・個人に向けて呼びかけ、最終的に地域サロンが 15 団体、応援者は 19 団体 & 個人 7 人と、総勢約 90 名が集まる大イベントとなりました。

第2部

活動団体(くまもと・わくわく基金登録団体)の紹介

くまもと・わくわく基金に登録した10団体が、「日頃どんな活動をしているのか」「どんな支援を必要としているのか」を発表しました。活動によって喜んでもらったエピソードや評価を交えて、日々の活動をアピールしました。



発表団体からはこんな要望が上がりました！

読者のみなさんにも、今すぐできる支援の方法があるかも？
「市民公益団体の活動を支援したい！」というご要望はぜひあいぽーとまで！



活動の機会の支援

- 広く啓発するため、研修や講演の機会や場所があれば声をかけてほしい
- イベントや研修等、障がいのある方が活躍できる舞台があれば教えてください！
- 福祉施設へ仕事の発注してくれる企業をご存知ありませんか？



資源・場所の提供

- 共生地域交流センター立ち上げのための場所(空き家)を提供してほしい！
- スポーツやイベントの会場の提供をお願いします！
- 熊本県産の花材の協賛をお願いしたいです！
- 生け花を展示できる公共の場所や会場、企業はありませんか？



金銭的支援

- 活動費の支援・寄附をお願いします！
- 広報費・会場費及び冊子作製費の支援をしてほしい！
- WEBサイトへの広告掲載をお願いします！
- 賛助会員・法人会員を募集しています！



参加による支援

- おはなし会や朗読音読教室など様々な取り組みに参加してほしい！
- ホームページや情報誌などで随時発信している情報を見て、知ってください！
- 講演会や講座に参加してほしい！
- 活動に関わる情報提供をお待ちしています！



参加企業からはこんな感想が！

- 体力的にも精神的にも大変な事業に取り組んでおられることに敬意を表します。これからも頑張ってください！
- どの団体も理念や目的がはっきりしている、また求める支援の内容も分かりやすかったので、企業としての社会貢献への想いを託すにはぴったりだと思いました。
- 活動を続けるための苦労や努力にも共感しました。継続することが何より大変で何より大切だと思います。我々にも可能な支援の形を見つけていきたいです。

くまもと・わくわく基金 交流会

縁-up! くまもと 2019

実施
レポート



社会貢献の想いを「縁づくり」でつなぐ! 「縁-up! くまもと 2019」を開催しました！

社会のために活動しているNPO法人などの団体と、社会貢献に関心がある企業・団体をつなぐための交流イベントを開催しました！

社会貢献活動に関心あり！集まった企業・団体はこれら！(敬称略)



より良い社会のために様々な分野で活動！わくわく基金の登録団体はこれら！

- NPO法人 ガット
 - 口からの健康づくり「歯っぴーかむカム」
 - NPO法人 くまもとオカリナの会
 - NPO法人 くまもと新創生プロジェクト
 - NPO法人 熊本どんぐり
 - NPO法人 KP5000
 - NPO法人 ディスカバリーくまもと
 - NPO法人 でんでん虫の会
 - NPO法人 プライバル熊本
 - NPO法人 身近な犯罪被害者を支援する会
- ※当日の発表順

第1部

「寄附を通した社会貢献のかたち」

第1部では熊本市より、企業や個人からの寄附を助成金に変えて市民活動を支援する制度「くまもと・わくわく基金」について説明がありました。

「ボランティアしたいけど時間がない！」など、直接的な社会貢献活動ができない場合の選択肢のひとつとなるのが「寄附」です。「くまもと・わくわく基金」は、「市民のニーズに合っているか」「どんな効果があるのか」などの5項目でしっかり審査されるので、「寄附を社会に役立ててほしい」という想いにきちんと応えられるのも特徴です。一般寄附の他に、「寄附金付き自動販売機」の設置や、企業の名称を冠した基金を設置する「冠寄附」の制度も存在します。



寄附は想いを
かたちに変えて
市民公益活動に
つなげる社会貢献の
一種です。

地域活動推進課
友安さん

ホームページや情報誌で寄附者を紹介します
ので、企業の社会貢献 PR に活用していただ
くことができます。また個人では寄附金を所得や
税額から控除できたり、法人では損金に算入で
きるなど、税制上のメリットもあります。



Q 今後の活動予定は？

一つは、定期的に市民後見人の育成研修を続け、「地域後見」の受け皿を増やしていくことです。後見人の仕事は、その方が亡くなるまで、言うなれば残りの人生を委ねられる、非常に責任がある仕事です。後継者をいかに育成するかが大きな問題になっています。

ですが困ったことがひとつ…。年金の関係か、最近は皆さん70歳くらいで仕事をされる方が多いのです。70歳で仕事をリタイアされて、それから学び、後見の仕事を始めたとしても、もう80歳が目前です。身体さえ元気なら、80

今年で設立10年を迎える「安心サポートネット熊本」。設立当初からのメンバーも、まだまだ頑張って活動を続けています。2025年問題がささやかれる中、今の時代になくてはならない活動ですね。「高齢者のお世話をしないといけないのに、自分たちが高齢になってしまって…。どうにかしないといけませんね（笑）」。そういながらも、とっても元気なお二人でした！

Q 助成を受けた効果や影響は？

合計3回の助成を受けたおかげで、広報活動のベースを作ることができました。活動の助けになったのは資金面だけではありません。設立したばかりのころは団体の名前も知られていない中、チラシに書かれた『わくわく基金助成事業』という言葉で配布先に信頼してもらうのにもひと苦労でした。そんな中、チラシに書かれた『わくわく基金助成事業』という言葉で配布先に信頼してもらえたことがあります。本当にありがとうございました。

Q 現在の活動の様子は？

独り暮らしの高齢者の方が急増しています。そして、身体能力の低下、判断能力の低下など、種々の不安をもつて生活されています。このような独り暮らしの高齢者の方々にとって、「転ばぬ先の杖」となるような任意後見契約移行型の利用の支援を中心として活動しています。ぜひ多くの方が利用され、安心した生活を送っていただきたいと考えています。

一方、会員同士の懇親を深めるため、熊本単独、または福岡と合同で自然と親しむ会と称したイベントを年に数回開催しています。



用語説明②

■ 市民後見人

市民後見人とは、親族以外の市民による後見人のことです。市民後見人は、弁護士などの専門職後見人と同様に家庭裁判所が選任し、判断能力が十分でない方の金銭管理や日常生活における契約などを本人の代理として行います。

用語説明①

■ 成年後見制度

認知症や障がいなどの理由で判断能力が不十分な人を対象に、その財産の管理や遺産の分割協議、契約（介護施設への入所等）などの行為を支援する制度。裁判所によって選ばれた成年後見人（補助人・保佐人）によって保護・支援が行われる「法定後見」と、本人に判断能力があるうちに将来に備えた後見人を選ぶ「任意後見」があります。

くまもと・わくわく基金 その後の話

くまもと・わくわく基金の助成を受けた団体が、その後どのように発展したのかを追跡するこのコーナー。今回取材する団体は、平成24年度、26、27年度に助成を受けた「NPO法人 成年後見安心サポートネット熊本」です。今年で設立10年を迎える同団体が、奮闘し、成長してきた軌跡を取材しました。



理事長 猿渡 純雄さん
理事 岩瀬 清治さん

活動理念は「地域後見」!
成年後見制度の利用で
家族の負担も
軽くなります!

NPO法人
成年後見安心
サポートネット熊本

平成22年2月設立。
判断能力の不十分な高齢者や
障がい者が、いつでも、どこでも、
容易に成年後見制度を
利用できるようにと、
制度の普及促進を目指して
活動しています。
<http://anshin-net.jp/annshinkumamototop.html>

どんな事業？

平成24年度助成
成年後見申立て支援及び後見人受任の
無料相談事業並びに広報啓発事業
平成26・27年度助成
成年後見無料相談事業ならびに広報啓発事業

高齢者や障がい者を対象に、
その権利や財産を守るために制度
「成年後見制度」の紹介や
利用についての
無料相談を行いました。

設立のきっかけは？

活動のスタートを促してくれたのは、私たちよりも先に活動していた「高齢者・障害者安心サポートネット福岡」という同じグループの団体です。同団体が主催となって、熊本で「市民後見人」の育成講座を開催していました。初めて耳にする「市民後見人」という言葉でしたが、ちょうど定年退職していた私は興味を持ち、4ヶ月間の研修を受けました。

サポートネット福岡からの投げかけもあり、一緒に研修を受けたメンバーや賛同してくれた仲間と一緒にNPO法人立ち上げたのが平成22年でした。

くまもと・わくわく基金との出会い

私たちの事業は、成年後見制度を必要とする方が相談に来られてからがスタートです。そのためには、まず私達のこと、そして成年後見制度のことを知つもらわないと話が進みません。相談会の広報はチラシ配布、新聞広告を利用していましたが、前述のとおり自分で財源を確保する独立型の団体のため、当時は収入が少なくて苦労していました。あいぱーとから、わくわく基金のことを教えてもらったのも丁度この頃で、すぐに申請を出しました。おかげさまで法人の基盤が固まり、今も事業を継続できています。

全国でも珍しい 「独立型」のサポート団体

成年後見を取り扱うNPO法人は数多くありますが、私達の「安心サポートネットグループ」は自分達の事業の報酬によって運営を行う「独立型」のNPO法人で、全国でも珍しいそうです。利用する方からの報酬は実費程度しか頂かないでの、高い利益を出すことはできませんが、報酬以外にも会費や寄附などを活用して事業を維持しています。



熊本市市民公益活動支援基金 くまもと・わくわく基金 制度のしくみと利用方法

熊本市市民公益活動支援基金(くまもと・わくわく基金)とは?

市民公益活動支援基金「くまもと・わくわく基金」は、市民の皆様や事業者の方々の「社会に貢献したい」という「想い」を寄附金としていただき、活動団体への助成という形で市民公益活動を応援する制度です。

この基金の特徴は、皆様からいただいた寄附金が

団体の事業費の一部となる → 助成を受けた団体の活動が、市民の皆様に還元される

というところにあります。また、単なる事業費の助成ではなく、事業を円滑にするためのアドバイスや情報発信などのサポートも行っています。

助成対象となる事業・団体

- 対象となる事業
保健・医療・福祉などの様々な分野で行われる市民公益活動
- 対象となる団体 熊本市内に事務所または活動拠点がある次の団体
ア・NPO 法人
イ・ボランティア団体等の任意団体
ウ・ア及びのほか、地域コミュニティ活動などを行う団体

助成申請について

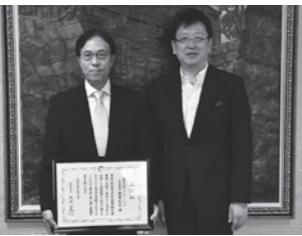
- 毎年11~12月頃：翌年度事業の助成申請を受付
- 翌年2月頃：基金運営委員会によって審査
- 翌年3月頃：審査結果の通知
- 翌年4月：助成交付の決定
- 随時受付中：基金団体登録（助成申請を希望する団体は、事前に基金団体登録を行う必要があります）

寄附者への感謝状贈呈式

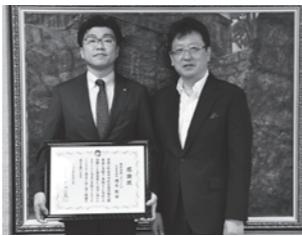
この1年間で「くまもと・わくわく基金」への寄附者(10万円以上)の方に対して、令和元年9月2日(月)に大西一史熊本市长より感謝状が贈呈されました。



東京エレクトロン九州株式会社 様



株式会社 サンワーテック 様



株式会社 パスト24 様



NPO法人 スポレク・エイト 様

「くまもと・わくわく基金」への寄附が ふるさと納税サイトで申し込みできます！

熊本市では、平成29年12月1日より、ふるさと納税ポータルサイト「ふるさとチョイス」での寄附受付を開始しました。ふるさと納税の一種である「くまもと・わくわく基金」への寄附も申し込みが可能です。

ふるさと納税ポータルサイト「ふるさとチョイス」

<https://www.furusato-tax.jp/japan/prefecture/43100>

「ふるさとチョイス」での申し込みをする場合、寄附方法として、クレジットカード決済（※）、銀行振込、郵便振替、現金書留を選択することができ、申し込みから支払いまでの手続きをいつでも簡単に行うことができます。

※使用できるクレジットカードは、JCB、VISA、MasterCard、AmericanExpress、ダイナースが対象となり、5,000円以上の寄附から使用できます。

熊本市では、一定額(10,000円)以上の寄附をいただいた方に対して、寄附金額に応じて「体験型」の特典を含めた「感謝の品」を進呈しています。「くまもと・わくわく基金」での寄附も、ふるさと納税として申し込みが可能です。

お問い合わせ

熊本市市民活動支援センター・あいぼーと（ウェルバルくまもと1階）TEL：096-366-0168
助成や寄附に関するお問い合わせは、お気軽に「あいぼーと」までご連絡ください。

熊本市市民公益活動支援基金 くまもと・わくわく基金



「くまもと・わくわく基金」へのご協力に感謝し、心より御礼申し上げます。

熊本市民の皆さま、法人・団体等の皆さまからの寄附は、令和2年1月10日現在、27,598,473円となっております。ご協力に厚く御礼申し上げます。今号では、令和元年7月11日から令和2年1月10日の間にご寄附をいただきました皆さまへ感謝の意を込め、以下にご芳名を掲載させていただきます。皆さまのさらなるご支援とご協力を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

【一般寄附】

- 株式会社 熊本市リサイクル事業センター 様 8,521円
- 株式会社 サンワーテック 様 300,000円

《ご要望によりお名前のみ公開希望の方》

- E-clean 様
- 有江 寛隆 様
- 上村 鈴治 様
- 衛藤 真 様
- 大沼 健太郎 様
- 株式会社 オークス熊本 様
- 株式会社 熊本シティエフエム 様
- 木村 彰 様
- 栗原 裕子 様
- 下田 隆文 様
- 白鷹 様
- 瀬井 健人 様
- 高橋 知恵美 様
- 田尻 俊治 様
- 土黒 功司 様
- 土井 和子 様
- 永野 康裕 様
- 林 紘太郎 様
- 古庄 美奈子 様
- 松本 富士男 様
- 安田 征司 様
- 吉武 一壽 様
- 熊本応援チャリティランナー(特別枠)42名
- 熊本応援チャリティランナー(一般枠)904名
- NPO法人 スポレク・エイト 様
- 伊形 治美 様
- 上村 亮 様
- 太田 康文 様
- 小川 延宏 様
- 株式会社 お菓子の香梅 様
- 河野 光彦 様
- 熊本新明産業 株式会社 様
- 桑原 芳文 様
- 白石 直子 様
- 杉本 幸生 様
- タイル食堂 様
- 竹田 逸夫 様
- 田中 美香 様
- 土屋 裕樹 様
- 中尾 紗綾 様
- 永山 國博 様
- 堀田 優里 様
- 三浦 幸博 様
- 有限会社 オーエス収集センター 様
- 吉野 りつ子 様
- 赤峰 律子 様
- 岩元 瑞紀 様
- 浦田 憲治 様
- 大田黒 涼 様
- 金子 雄司 様
- 株式会社 パスト24 様
- 喜佐田 充伸 様
- 桑野 恭輔 様
- 嶋村 亜美 様
- 白石 義晴 様
- 杉山 泰司 様
- 高智穂 さくら 様
- 竹田 靖宏 様
- 田上 晶恵 様
- 角田 俊一 様
- 中川 奈穂子 様
- 濱田 孝子 様
- 藤岡 明弘 様
- 松江 慎太郎 様
- 水野 直樹 様
- 有限会社 石翔 様
- 吉村 俊久 様

※その他募金箱及び公開を希望されなかった方 24名

寄附をお考えの方

「くまもと・わくわく基金」への寄附は、地域活動推進課窓口へ直接寄附金をお持ちいただく方法と、事前に必要事項を記入した「寄附申出書」を地域活動推進課へ送っていただき、その後返送された「納付書」をもって金融機関にて寄附金をご入金いただく方法があります。他にも熊本市役所庁舎1階に募金箱を設置しております。寄附額に制限はありませんが、2,000円以上ですと、地方公共団体に対する寄附として「ふるさと納税」扱いとなり、税制上の優遇措置を受けることができます。また、「くまもと・わくわく基金」への寄附は、ふるさと納税ポータルサイト「ふるさとチョイス」でもお申込みできます。寄附のお申し込みやお問い合わせは、お気軽にあいぼーとまでご連絡ください。

あいぼーと TEL: 096-366-0168

ホームページ http://www.kumamoto-aiport.com/kumamoto_wakuwaku/



アクティブNPO

今回紹介するアクティブなNPOは、熊本の“陸の玄関口”である熊本駅周辺を舞台に旅先案内人のボランティア活動をしている『春日人おてもやん』です。学生からなんと90代まで、約70名ものメンバーの活動と歴史、その想いについてインタビューしました。



その後の移動ルートも考慮した細やかなバスの路線案内や、短時間で回れる熊本駅周辺の観光ルートなどもご案内しています。

また、活動を始めて5年目の平成28年ごろからは、インバウンド需要が高まってきたこともあって海外からのお客様が増えました。日本語のわからない方も案内できるように、英語、中国語、韓国語に対応した案内用リーフレット「指差しあてもツール」を作成し、「交通」「宿泊」「観光」など、希望するジャンルを指さしても

10年間頑張り続けた集大成！
「春日人」だからできる案内を

その後の移動ルートも考慮した細やかなバスの路線案内や、短時間で回れる熊本駅周辺の観光ルートなどもご案内しています。

また、活動を始めて5年目の平成28年ごろからは、インバウンド需要が高まってきたこともあって海外からのお客様が増えました。日本語のわからない方も案内できるように、英語、中国語、韓国語に対応した案内用リーフレット「指差しあてもツール」を作成し、「交通」「宿泊」「観光」など、希望するジャンルを指さしても

らうことでの、スマートな案内ができるようになりました。また、最近は小学生に向けた旅先案内人の学習を行っています。

その他の活動としては、年2回ほど駅前のイベントで子ども向けの遊び講座なども行っていますよ。

10年間頑張り続けた集大成！
「春日人」だからできる案内を

いまメインの活動として行っているのは旅先案内人ですが、この10年間の間にCDを作ったり、春日ぼうぶら（熊本の伝統野菜。カボチャの一種）を使った料理を考案したりと、様々なことにチャレンジしてきました。バリューアップを重ねてきた旅先案内のアイテムやアイデアもいい思い出で、私たちの強みです。また、熊本駅を取り巻く環境や、案内のやり方、対応方法も時代とともに変化してきました。それらの経験も全て今に繋がり、私達「春日人」にしかできないような旅先案内ができると自負しています。



きっかけは新幹線開通時の
「サプライズアワード」受賞！

この活動の出発点になったのは、同じ保育園や小学校の保護者・PTAと一緒に活動してきたメンバーでした。子どもに手がかかるくなるタイミングで、「熊本駅が新しくなるらしい」「新幹線が通るらしい」という情報が。私達に何かできんだろうかと考える中で、「昔、駅に赤帽っていうのがあったよね」「妊婦の方やお年寄りの荷物を持ってあげたりしていたよね」との話題になり、思いついたアイデアが「熊本駅の旅先案内人」でした。

熊本駅を案内するにあたって心がけたのは、「博多駅や鹿児島中央駅ではなく『熊本駅』だからできること」です。新幹線口を出てすぐに降車場があり、けたら嬉しいです。

メンバーは学生から90代まで!
「地元力」フル活用の観光案内

活動に携わるメンバーは、下は小学生から上は90代まで。ボランティア登録している約70名で、熊本駅内・周辺の観光案内を行っています。「地元に住んでいるからこそできること・分かること」を意識して、乗り換え時間、案内人」として活動を始めました。

「地元力」全開！
熊本駅でごあんない

取材後記

熊本の陸の玄関口であり、新幹線開通を機に目覚ましい発展を遂げている春日地域・熊本駅周辺。熊本地震をベースに地元を盛り上げようとする地元の方々の、熱い思いを感じました。初めて熊本に来られた方々を熊

迷う人が多いので、乗り換えや交通の案内に力を入れることにしました。

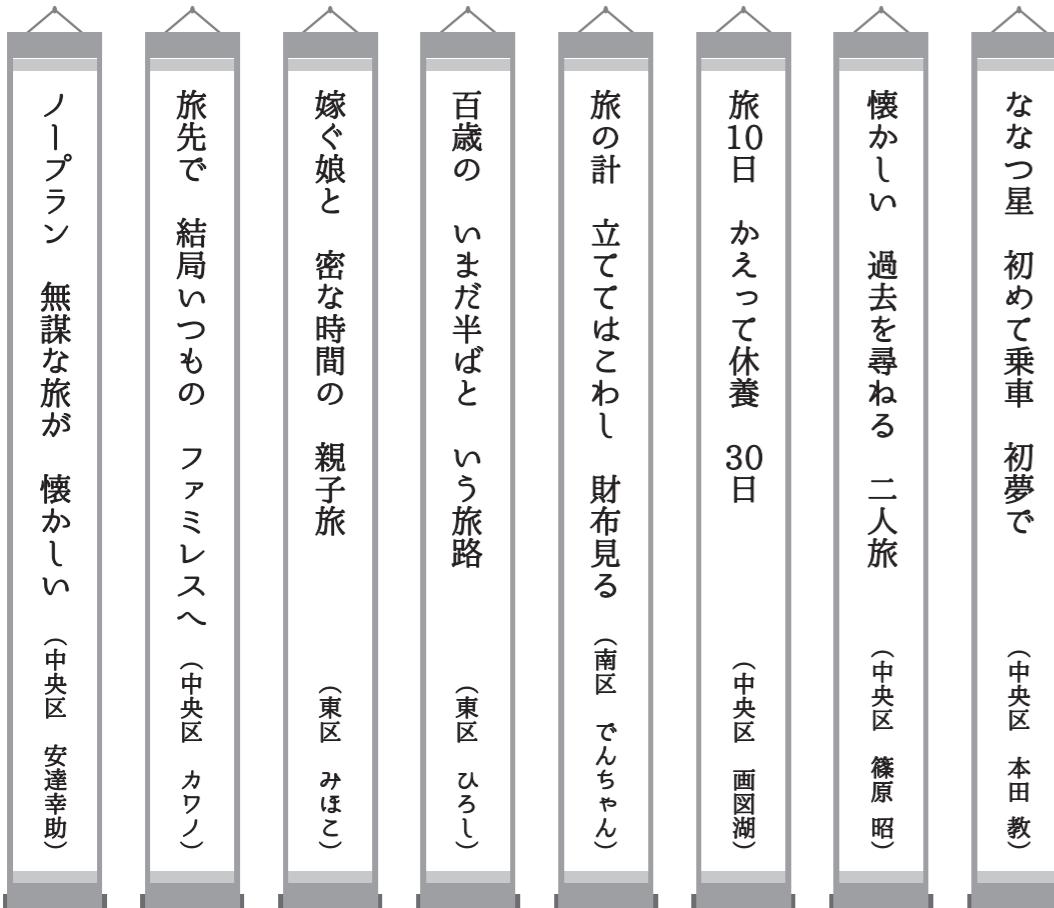
この企画を九州新幹線全線開通の際に募集された「新幹線元年企画くまもとサプライズアワード」に応募したところ、なんと金賞に相当する「金くま賞」を受賞。これを機に、現在の「旅先案内人」として活動を始めました。



活動内容

熊本駅 旅先案内人
毎週土・日曜・祝日
10:00～12:00/13:00～15:00

熊本駅を訪れた観光客に対して、バス・市電などの交通機関の路線案内や、ホテル・飲食店・観光スポットなどへの案内を行っています。「駅周辺を散策したい」「1時間ちょっとの時間で行けるスポットは?」などのニーズにも対応可能なのは地元春日地域の団体ならでは!



あいづ川柳道場

今回のお題

毎回力作揃いのあいづ川柳道場。今回のお題は「旅」です。

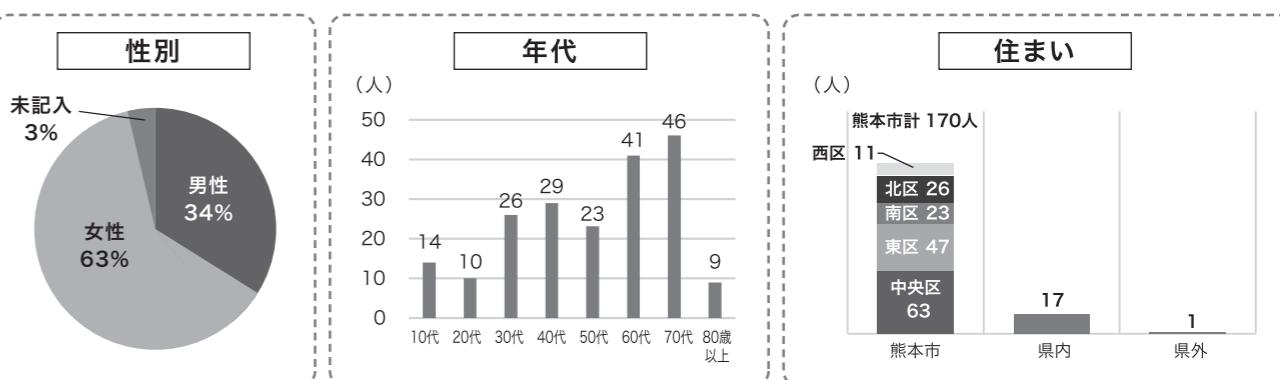
みなさんの身近にある「旅」や人生における「旅」を川柳に込めていただきました。

数字で見る“あいぽーと”

從来から市立図書館やイベントなどに参加して実施していました出前相談について、令和元年度からさらに各区役所や区民祭りなどに出向いてブースを設けることとしました。その際、出前相談ブースに来られた方々に、あいぽーとやボランティアについてのアンケート調査を行いましたので、その内容を数字で見てみました。

【出前相談ブースに来られた方】

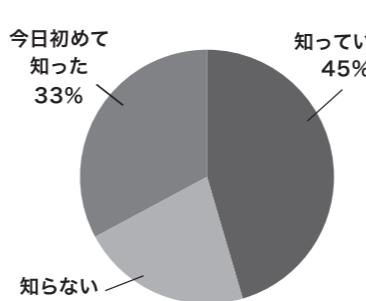
ブースに来られた方の2/3が女性で、半数近くが60代以上の方でした。また、各区に出かけたこともあり中央区をはじめ全区の方にブースに来ていただいており、熊本市以外の方もいらっしゃいました。



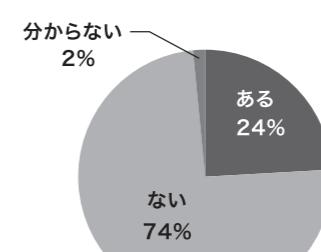
【あいぽーとについて】

あいぽーとについては、「知らない」や「今日初めて知った」という方が5割を超え、利用したことがない方も7割以上いらっしゃるなど、あいぽーとの認知度はまだまだ低い状況です。また、4割近くの方が情報収集や相談などでブースに立ち寄られており、このような出前相談など、あいぽーとから外に積極的に出向く取り組みが必要と感じました。

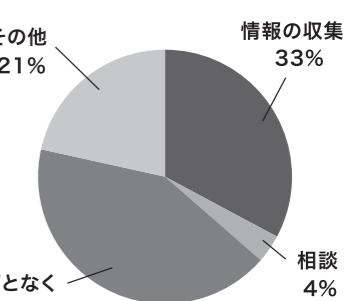
【あいぽーとを知っていますか】



【利用したことがあるか】



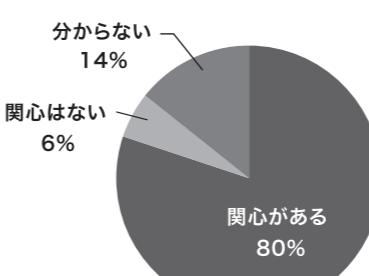
【来られた目的は何か】



【ボランティアについて】

ボランティアについては、8割の方が関心を持っておられ、半数の方がボランティアの経験があるなどボランティアに対する思いや認識は、かなり高いと感じました。

【ボランティアについて】



【ボランティアの経験は】

